



アグリファイナンスについて

— 農林水産業成長産業化に向けて
金融機関に期待される役割 —



ゆたかな生活 夢ある街づくり
玉島信用金庫





アグリ分野への関わり

【取組み概要】

平成22年 地域創造部新設

✓アグリ分野への関わりスタート

✓農業経営アドバイザー資格取得開始(5名、内女性1名)

⇒地元JA、地元農家への訪問

平成24年「経営ソリューションサポート制度‘コロンブス’」スタート

✓企業サポートの一環として、アグリ分野での活動を本格開始

✓サポート内容

①6次産業化支援

②1次産業の販路開拓支援

③1次産業と2・3次産業とのマッチング

④1次産業参入支援





経営ソリューションサポート制度 ‘コロンブス’

たましん経営サポーター“コロンブス”のイメージ図

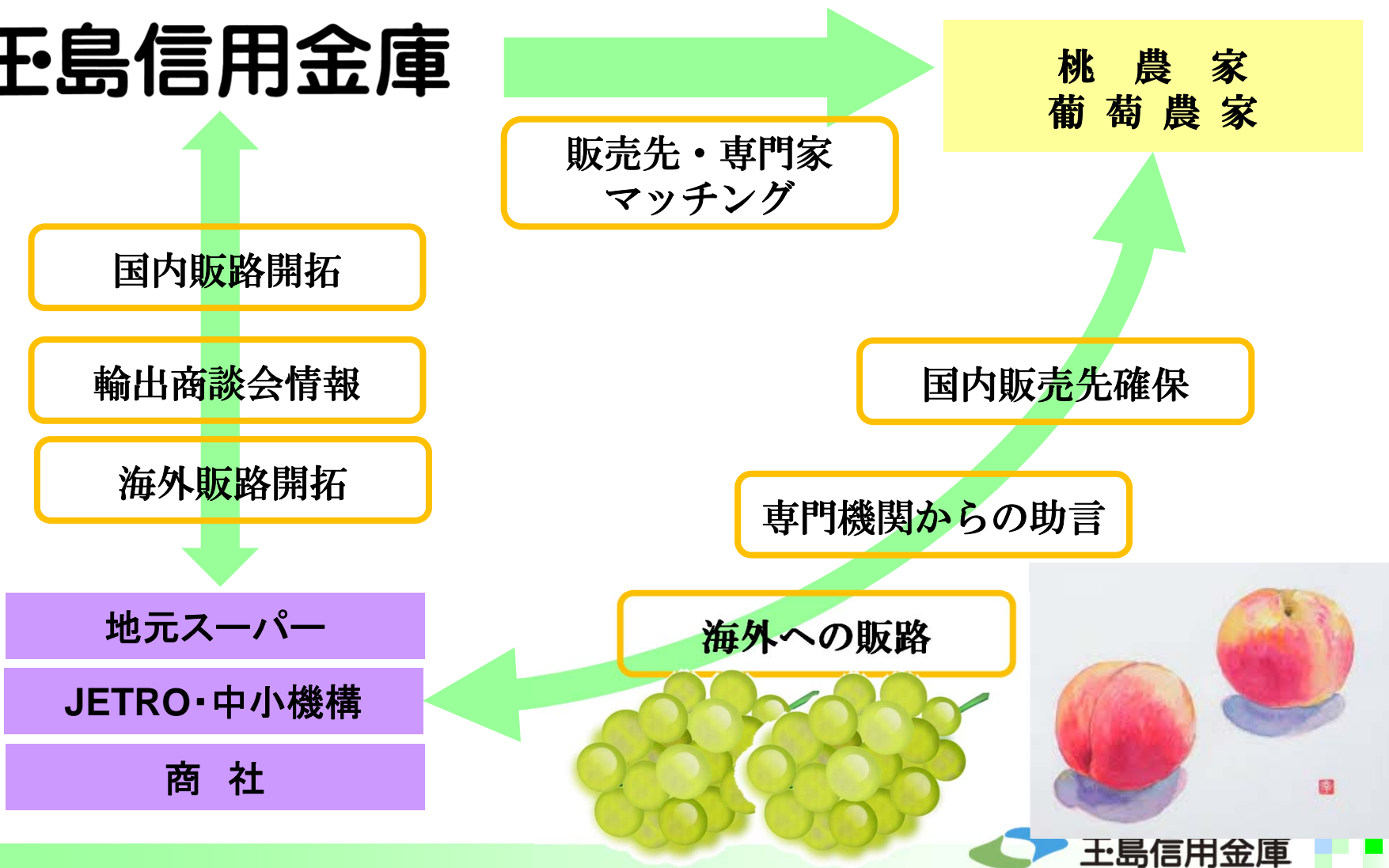


ゆたかな生活 夢ある街づくり
玉島信用金庫



事例1 - ① 白桃・葡萄の販路開拓支援

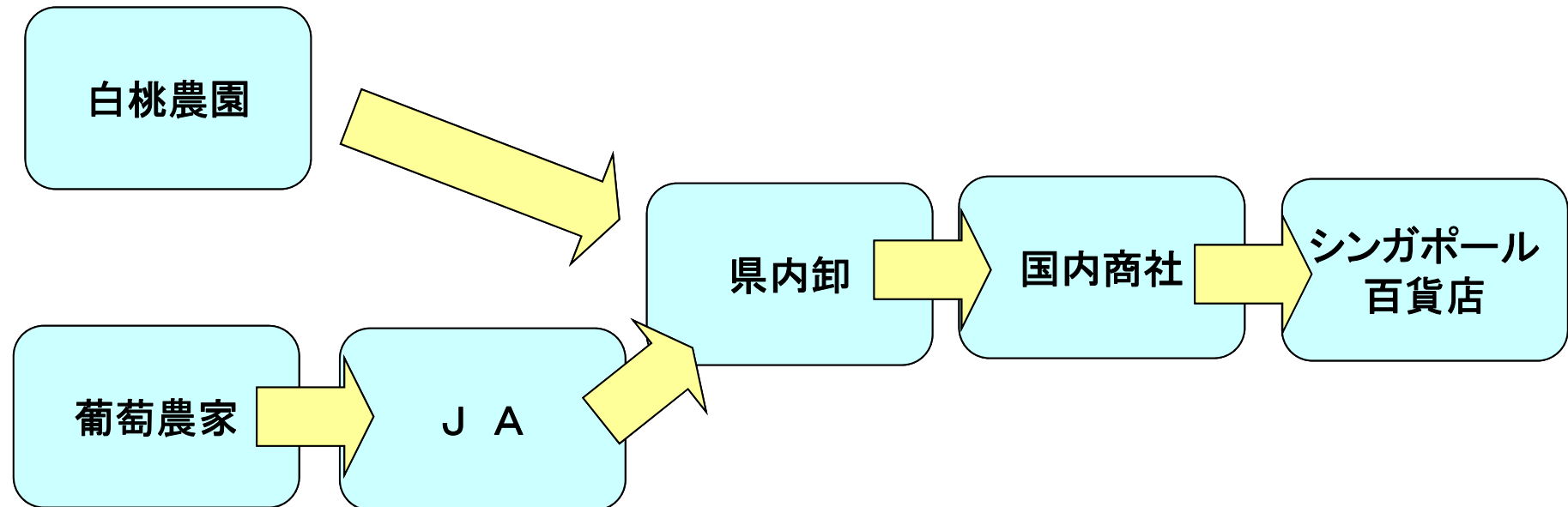
玉島信用金庫



玉島信用金庫



事例1 - ② 白桃・葡萄の販路開拓支援 ～シンガポール輸出の流れ～



- 間接貿易での輸出(物流・代金決裁は国内取引と同じ)。
- 発注量・発注時期により、県南農家のみでは対応できない恐れがある事から中間に果樹に強い県内卸事業者を組み込んでいる。



事例1 – ③ 白桃・葡萄の販路開拓支援 ～シンガポールでの販売状況～

75S\$



95S\$



【白桃のシンガポールでの販売状況】

- シンガポールの某百貨店での販売状況。日本の千疋屋をイメージした店。
- 梱包は自社でパッケージングして、展示販売。
- 陳列されている白桃は集荷後20日程度のもので⇒ソフトな食感が好まれるため。
- 日本の受渡価格の3倍程度で販売をしている。

【葡萄のシンガポールでの販売状況】

- シャインマスカット、巨峰はシンガポールでも知名度が高く、人気。
- 白桃と同じく、日本の受渡価格の3倍程度で販売をしている。

事例1 - ④ 白桃・葡萄の販路開拓支援 ～首都圏販路開拓支援～



日本百貨店(秋葉原)で白桃・葡萄の即売会を実施(平成25年～27年)

平成25年 清水白桃のみを元桃娘(JRの制度)が店頭に立ち、試食販売を実施。

平成26年 100周年事業「くらしき物産展」で、白桃・葡萄を含む地域産品を販売。

平成27年 備中県民局の事業と連携して、葡萄を含む地域産品を販売。

○全即売会で、白桃・葡萄は非常に人気が高く閉店をまたず完売の状況。

○開催期間中に、海外・国内バイヤー、岡山県関係者等が来店。

○日本百貨店の代表者も、好評である事から、毎年定期開催を希望している。

事例2ー ① マスカットスパークリングワインの開発支援

玉島信用金庫

ファイナンス

支援制度の活用

大学連携

首都圏販路開拓

ワイナリー

ボトルのデザイン

支援制度の申請支援

首都圏販売先の確保

地方公共団体

提携大学

首都圏販売事業者



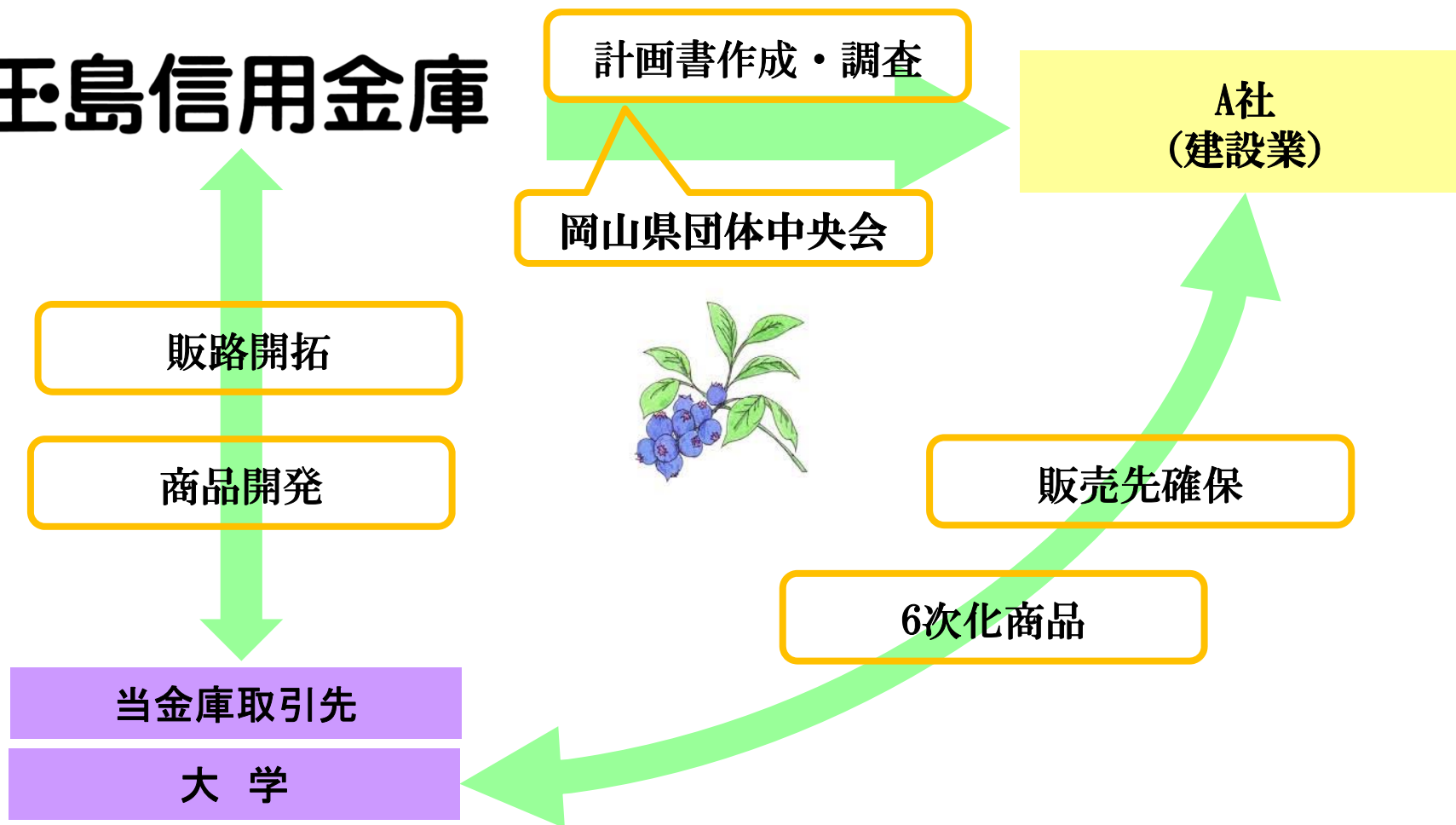
事例2ー ② 完成したマスカットスパークリングワイン



- ✓ 支援制度「地域経済循環創造事業」の活用・申請支援
- ✓ 産学官連携をアレンジ
 - ⇒ 提携大学にてボトルデザインを実施
- ✓ 首都圏販路開拓支援
 - ⇒ 物産展の参加をきっかけに首都圏への販路を確保

事例3 - ① 建設業の1次産業参入支援

玉島信用金庫



事例3 - ② ブルーベリーファームと販売商品



- ✓ 参入時の計画書作成支援(栽培農家の調査・計画書作成)
- ✓ 外部専門機関の紹介(中小企業団体中央会)
- ✓ 販路開拓支援(当金庫取引先:洋菓子店等への紹介)
- ✓ 提携大学とのマッチング⇒加工品の開発(継続中)

アグリ支援を通じて学んだこと

- ✓ 若手農家の事業意欲(事業規模の拡大・6次化)が高まってきている
⇒ 今後の融資業務へ結びつく可能性が高い
- ✓ 1次産品への国内外バイヤーの関心が高い
⇒ 当金庫取引先商品も併せての商談会開催が容易
- ✓ 当金庫取引先である2・3次事業者は、農家との連携への関心が非常に高い
⇒ 農家とのパイプを有している事は金庫独自の付加価値

✓ アグリサポートは地域金融機関の使命